

犬の骨関節炎に対する有効性及び安全性に関する臨床試験

犬の骨関節炎とは、犬の関節の軟骨に障害が起こり、その進行・悪化によって慢性的な痛みをもたらす病気です。当院は治療薬（OJI-204）を投与することにより、骨関節炎に伴う疼痛及び跛行に対する有効性及び安全性を確認する目的で臨床試験を行っております。

◆このような症状がある犬の飼い主様はご相談ください

- ・立ち上がりに時間がかかる
- ・歩きが遅くなる
- ・散歩したがらなくなる
- ・足に触ろうとすると痛がる
- ・足を引きずって歩く様子がある
- ・散歩中に座りこんでしまう
- ・痛みを訴えるように鳴く
- ・遊ぼうとしなくなる

◆対象

- ・骨関節炎の疾患をもつ犬(疑い症例の受診も可能)
- ・試験開始後、7日おきに1回（合計4回）の当院への通院ができる飼い主様

◆内容

- ・液状の注射液を7日おきに1回（合計4回）皮下注射します。
- ・投与開始後、7日おきに当院を受診し、整形学的スコア及び一般状態を調べます。
- ・当院受診時には、一般検査(身体検査、血液検査、画像検査など)を実施し、有効性及び安全性の評価をします。

※研究の詳細や費用については、当院にお問い合わせください。

※臨床試験に参加された方の試験薬の費用は免除されます。

実施機関の長：所長 荒川弘之